



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 荒屋 英治

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	48,161	△2.7	371	△73.6	314	△77.8	171	△86.7
27年3月期第2四半期	49,519	2.6	1,407	△10.5	1,418	△11.6	1,290	110.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 111百万円 (△92.1%) 27年3月期第2四半期 1,411百万円 (66.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.34	—
27年3月期第2四半期	11.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	133,085	54,165	40.7	405.61
27年3月期	130,345	51,115	39.2	438.60

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 54,165百万円 27年3月期 51,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	△0.1	1,800	10.7	1,700	△2.8	500	△68.9	3.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	133,546,883 株	27年3月期	116,654,883 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,796 株	27年3月期	110,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	128,157,651 株	27年3月期2Q	116,549,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、中国経済の景気減速の懸念はあるものの、原油価格安などを背景に、企業業績は底堅い推移を見せ、景気は緩やかな回復傾向を示しております。

紙パルプ業界におきましては、電子媒体の進展や書籍発行減少に見られる紙離れなどの需要構造の変化や円安等による原料価格・資材価格の高騰など厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、当社グループは平成25年5月に公表した中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」に果敢に取り組み、高級白板紙・加工原紙の新規需要の開拓、グループ製袋事業の発展強化、木質バイオマス燃料発電設備の新設など新規事業への参入、生産体制の見直しを含めた抜本的なコスト削減対策の推進、新素材セルロースナノファイバーの研究開発の促進、などを柱とする新たな収益基盤の具現化を進め、より存在感のある企業確立を目指してまいりました。

当期の経営成績につきましては、販売価格の復元による収益改善効果はあったものの、川内工場の台風被害（平成27年8月28日公表「台風15号による当社川内工場への影響について」参照）では一部機器の復旧に多大な時日を費やすことを余儀なくされたことや、主力工場の投資工事に伴う長期停止などにより、前年同四半期と比べて損益は大幅に悪化いたしました。

なお、当社と王子ホールディングス株式会社は、両社の経営資源を相互に有効活用することにより、投資効率、資金効率のより一層の向上を図ることを目的に、業務・資本提携を実施いたしました。詳細は平成27年5月29日に公表しております「王子ホールディングス株式会社との業務提携及び子会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	48,161百万円	(前年同四半期比 2.7%減)
連結営業利益	371百万円	(前年同四半期比 73.6%減)
連結経常利益	314百万円	(前年同四半期比 77.8%減)
連結四半期純利益	171百万円	(前年同四半期比 86.7%減)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売は、発行部数及び頁数の減少により、数量・金額とも前年同四半期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷情報用紙の販売につきましては、情報化社会の構造変化に伴う需要減の影響により、数量は前年同四半期を下回りました。

金額については価格修正が寄与しほぼ横ばいにて推移しました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、台風の増加などの天候不順や需要構造の変化に伴う需要減の影響により、数量は前年同四半期を下回りました。

金額につきましては価格修正を行ったものの、前年同四半期を下回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙の販売につきましては、川内工場の台風被害に伴う復旧に最も時日を要した分野のため、数量・金額とも前年同四半期を下回りました。

板紙・加工品等につきましては、需要の低迷により、数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	41,566百万円	(前年同四半期比 2.2%減)
連結営業損失	200百万円	(前年同四半期は725百万円の連結営業利益)

(紙加工品製造事業)

紙加工品製造事業は、国内需要が低迷したことにより減収となりましたが、固定費の削減に取り組んだことにより増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	6,394百万円	(前年同四半期比	2.0%減)
連結営業利益	93百万円	(前年同四半期比	64.9%増)

(発電事業)

発電事業につきましては、二塚製造部における発電コストの増加に伴い、前年同四半期と比較し減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	799百万円	(前年同四半期比	8.0%減)
連結営業利益	270百万円	(前年同四半期比	13.3%減)

(その他)

紙断裁選別包装・運送事業につきましては工場の停止による生産・出荷減の影響により減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	8,982百万円	(前年同四半期比	9.8%減)
連結営業利益	175百万円	(前年同四半期比	36.7%減)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

売上の減少などにより受取手形及び売掛金が2,156百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、47,517百万円となりました。また、有形固定資産が3,128百万円増加したことなどにより、固定資産は3.8%増加し、85,568百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、133,085百万円となりました。

(負債)

1年内償還予定の社債2,000百万円を償還したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、54,664百万円となりました。また、長期借入金が1,944百万円増加したことなどにより固定負債は7.8%増加し、24,255百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、78,920百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、54,165百万円となりました。これは王子ホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当増資により、資本金が1,604百万円、資本剰余金が1,601百万円増加したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円はありましたが、剰余金の配当291百万円などにより利益剰余金が119百万円減少したことなどによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて1.5ポイント増加し、40.7%となりました。

なお、第三者割当増資の詳細は平成27年5月29日に公表しております「第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分の払込手続完了並びにその他の関係会社の異動及び主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,232百万円(前第2四半期連結累計期間比1,970百万円の減少)となりました。

これは主として、減価償却費4,256百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,423百万円(前第2四半期連結累計期間比2,512百万円の増加)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出6,555百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2,964百万円(前第2四半期連結累計期間は3,180百万円の支出)となりました。

これは主として、株式の発行による収入3,183百万円によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成27年5月13日付けにて発表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の別紙「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,782	5,555
受取手形及び売掛金	25,258	23,101
商品及び製品	8,000	8,329
仕掛品	639	664
原材料及び貯蔵品	4,996	6,137
その他	3,272	3,744
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	47,932	47,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,961	51,130
減価償却累計額	△30,873	△31,380
建物及び構築物(純額)	20,087	19,750
機械装置及び運搬具	239,624	240,869
減価償却累計額	△202,655	△205,226
機械装置及び運搬具(純額)	36,968	35,642
その他	19,886	24,734
減価償却累計額	△2,688	△2,744
その他(純額)	17,197	21,990
有形固定資産合計	74,254	77,382
無形固定資産		
その他	324	388
無形固定資産合計	324	388
投資その他の資産		
投資有価証券	5,887	5,817
その他	2,094	2,123
貸倒引当金	△147	△143
投資その他の資産合計	7,834	7,797
固定資産合計	82,412	85,568
資産合計	130,345	133,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,200	13,707
短期借入金	32,273	32,413
1年内償還予定の社債	2,000	-
未払法人税等	207	191
賞与引当金	579	578
その他	7,456	7,773
流動負債合計	56,717	54,664
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	14,482	16,427
固定資産撤去費用引当金	658	425
退職給付に係る負債	5,059	5,115
その他	310	288
固定負債合計	22,511	24,255
負債合計	79,229	78,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	18,864
資本剰余金	14,651	16,253
利益剰余金	18,593	18,473
自己株式	△24	△1
株主資本合計	50,480	53,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,012	938
退職給付に係る調整累計額	△377	△363
その他の包括利益累計額合計	635	575
純資産合計	51,115	54,165
負債純資産合計	130,345	133,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	49,519	48,161
売上原価	39,662	39,510
売上総利益	9,857	8,650
販売費及び一般管理費		
販売手数料	3,285	3,198
運搬費	3,023	2,888
保管費	520	570
その他	1,620	1,620
販売費及び一般管理費合計	8,449	8,278
営業利益	1,407	371
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	79	85
為替差益	77	4
その他	75	81
営業外収益合計	234	174
営業外費用		
支払利息	176	150
その他	47	81
営業外費用合計	223	232
経常利益	1,418	314
特別利益		
投資有価証券売却益	-	50
固定資産売却益	22	311
その他	-	7
特別利益合計	22	369
特別損失		
固定資産除却損	196	156
特別退職金	28	10
災害による損失	-	239
その他	2	1
特別損失合計	226	407
税金等調整前四半期純利益	1,213	275
法人税、住民税及び事業税	425	104
法人税等調整額	△502	△0
法人税等合計	△76	103
四半期純利益	1,290	171
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,290	171

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,290	171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	△74
繰延ヘッジ損益	8	-
退職給付に係る調整額	10	14
その他の包括利益合計	120	△60
四半期包括利益	1,411	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,411	111

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,213	275
減価償却費	4,289	4,256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	△6
受取利息及び受取配当金	△82	△89
支払利息	176	150
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△50
固定資産除却損	127	81
固定資産売却損益 (△は益)	△21	△312
売上債権の増減額 (△は増加)	2,646	2,156
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,199	△1,493
その他の資産の増減額 (△は増加)	△225	△223
仕入債務の増減額 (△は減少)	△751	△493
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	79	77
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△0
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	△37	△233
その他の負債の増減額 (△は減少)	△519	△190
未払又は未収消費税等の増減額	93	△578
その他	△48	31
小計	5,722	3,357
利息及び配当金の受取額	82	89
利息の支払額	△178	△151
法人税等の支払額	△424	△62
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,202	3,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,573	△6,555
有形固定資産の売却による収入	71	386
投資有価証券の取得による支出	△5	△62
投資有価証券の売却による収入	46	70
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△246	△114
長期貸付けによる支出	△111	△25
長期貸付金の回収による収入	3	1
その他	△96	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,910	△6,423

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,550	-
長期借入れによる収入	3,200	5,300
長期借入金の返済による支出	△2,569	△3,216
社債の償還による支出	-	△2,000
株式の発行による収入	-	3,183
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	-	20
配当金の支払額	△232	△290
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	2,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,849	△226
現金及び現金同等物の期首残高	10,410	5,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,560	5,555

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,157	6,295	869	47,322	2,196	49,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,363	232	—	2,595	7,765	10,361
計	42,521	6,527	869	49,918	9,962	59,880
セグメント利益	725	56	312	1,094	277	1,371

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,094
「その他」の区分の利益	277
セグメント間取引消去	53
棚卸資産の調整額	△19
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,407

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,214	6,174	799	46,188	1,972	48,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,352	219	—	2,571	7,010	9,581
計	41,566	6,394	799	48,760	8,982	57,743
セグメント利益 又は損失(△)	△200	93	270	163	175	339

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	163
「その他」の区分の利益	175
セグメント間取引消去	51
固定資産の調整額	△18
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	371

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年5月29日付で王子ホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込を受け、合わせて自己株式の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が1,604百万円、資本剰余金が1,601百万円増加し、自己株式が23百万円減少しており、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が18,864百万円、資本剰余金が16,253百万円、自己株式が1百万円となりました。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。